

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科/ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2024年度	1年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
学科	文章技法論	太田克彦	1単位 24時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
伝えるための道具として言葉を使う前に、しりとりや回文、川柳といったナンセンスやリズムによる言葉遊びから始める。与えられたキーワードで絵を描いたあとから作文するという方法により、想像力を広げていく。			
【講義概要】			
文章を書くことに対する苦手意識をまず払拭し、言葉をつなげる作業の楽しさを実感する。このトレーニングにより、言葉が美術制作をするときに、色や形や空間を構成するうえでより効果を上げていく役割を果たせるようにする。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	セルフポートレイト (自画像) を書く		
2	ことば遊び [1] しりとり、アクロスティック (頭文字で遊ぶ)		
3	ことば遊び [2] アナグラム (文字の並べ替え)、回文		
4	ことば遊び [3] 川柳をつくる		
5	ことば遊び (4) 短歌をつくる		
6	オートマティズム (自動記述) の実験		
7	記憶にあるイメージをスケッチする		
8	マインドマップ (次元を変えたメモのとり方)		
9	映像を文章に起こす		
10	オノマトペを楽しむ		
11	民話のパロディをつくる		
12	物語をつくる		
13	落語・お笑いに学ぶ		
14	詩を書く		
15	書評を書く		
16	自作を語る		
【成績評価方法】			
レポート課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、成績評価を行う。なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。合格：(100~95 : A+ 94~80 : A 79~70 : B 69~60 : C) 不合格 (59~0 : D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			
1940年東京都生まれ。法政大学、桑沢デザイン研究所卒業。河出書房、『週刊ポスト』『ニューミュージック・マガジン』誌の編集者、CBSソニー出版(現ソニー・マガジズ)の編集長を経て、現在フリーのライターおよび編集者。			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科 屋間部 (3年制)	2024年度	1年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
学科	日本美術史A (FA科)	北 進一	1単位 24時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
最初に法隆寺金堂釈迦三尊像や玉虫厨子、広隆寺弥勒菩薩半跏思惟像など飛鳥時代の仏教美術から始まり、奈良時代の興福寺阿修羅像や東大寺法華堂不空羂索観音像、平安時代の神護寺薬師如来像と東寺講堂諸仏、平等院鳳凰堂阿弥陀如来像、平安仏画、鎌倉時代の運慶仏などの仏教美術を通観する。その後、平安末期の信貴山縁起絵巻や鳥獣戯画、室町時代の雪舟・雪村などの水墨画を取り上げ、古代・中世の日本美術の本質を探っていく。			
【講義概要】			
古代から中世までの日本美術は、東アジア文化圏の産物の一端として、そのイメージの源泉のほとんどを朝鮮半島や中国大陸に求めることができる。本講は、仏像・仏画・絵巻物・水墨画などを取り上げ、朝鮮や中国の作例と比較して、それらの造形（イメージ）の本質を具体的に追求していく。日本美術史を従来の様式論でおさえるのではなく、イメージの解説という新たな視点から日本文化史の中に位置づけて探求してみたい。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	日本美術史の時代区分と飛鳥時代の伽藍配置		
2	飛鳥・奈良(白鳳)時代の国宝仏像		
3	飛鳥・奈良時代の国宝絵画		
4	正倉院絵画		
5	密教の成立と平安時代の国宝仏像		
6	平安時代の国宝仏像		
7	平安時代の国宝仏画		
8	平安時代のやまと絵と四大絵巻		
9	平安時代の四大絵巻		
10	平安時代の四大絵巻		
11	鎌倉時代の国宝仏像		
12	鎌倉時代の国宝絵画		
13	水墨画の成立		
14	室町時代の国宝絵画		
15	室町時代の国宝絵画		
16	室町時代の国宝絵画		
【成績評価方法】			
レポート課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。なお出席が全体の2/3以下の場合、成績評価の対象外となる。合格:(100~95:A+ 94~80:A 79~70:B 69~60:C) 不合格(59~0:D) 仮処置:保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			
和光大学卒業後、中国・山東大学に留学。群馬県立女子大学兼任講師。専攻は日本および東洋美術史。著書に『ほとけを知る一仏像めぐりハンドブック』(シンコミュージック・エンターテイメント)『アシュラブック』(美術出版社)、共著に『カラー版東洋美術史』(美術出版社)。			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2024年度	1年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
学科	色彩論Ⅰ (VD科)	岩崎沙織	1単位 24時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
カラーコーディネートやUC (色のユニバーサルデザイン) など、実践的な色の知識・テクニック修得を目指します。配色ルールや色彩イメージを活用した作品制作を行い、色で表現する力と色を伝える力を身につけます。			
<b>【講義概要】</b>			
デザインにおける色の役割、色彩の基礎知識、UC (色のユニバーサルデザイン)、色彩心理、色彩調和の講義・課題制作。色の効果を活用した作品の制作・発表 ※AFT色彩検定3級・UC級対応。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション・自己紹介		
2	デザインにおける色の役割		
3	課題制作①		
4	色彩基礎		
5	色彩基礎		
6	色彩心理		
7	課題制作②		
8	色彩調和		
9	課題制作③		
10	作品制作①		
11	作品制作①		
12	UC (色のユニバーサルデザイン)		
13	UC (色のユニバーサルデザイン)		
14	作品制作②		
15	作品制作②		
16	作品発表		
<b>【成績評価方法】</b>			
課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格 (59～0：D) 仮処置：保留			
<b>【授業の特徴・形式と教員紹介】</b>			
講義形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。色彩協会コンクールへの参加を図る。			
1983年生まれ。お茶の水女子大学生活科学部卒業。服飾史や民俗学を学ぶ。広告会社勤務後、2014年カラーコンサルタントとして独立。パーソナルカラー診断やカラー講座、ブランディング提案を行う。AFT認定色彩講師。UC級認定講師。著書に『「好き」と「似合う」がかなう色の組み合わせBOOK』(池田書店)			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科/ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2024年度	1年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
学科	視覚文明史	太田克彦	1単位 24時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
制作上の技術は必須である。しかしそれはあくまでも必要条件。名作と呼ばれている作品には、すべて優れた発想と想像力がある。したがって作品内容をより高めるための発想力を身につける方法を学ぶ。			
【講義概要】			
古代から現代、そして未来までのパースペクティブを、視覚文化という次元から検討する。その分野は文学や演劇、ダンス、ファッションから音楽にまで広げ、それらが美術とどのように関わっているのかを学習する。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	西洋の発想		
2	東洋の発想		
3	死の誘惑		
4	生の魅力		
5	縄文の文化		
6	シンクロニシティ (共感覚)		
7	身体 [1] メタモルフォーゼ (変容)		
8	身体 [2] 手について		
9	身体 [3] 眼について		
10	戦争とアート		
11	アニメーションの原点		
12	アールヌーボーとアールデコ		
13	ファッションと現代美術		
14	表現の社会性		
15	建築の典型		
16	習作の重要性		
【成績評価方法】			
課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100~95：A+ 94~80：A 79~70：B 69~60：C) 不合格(59~0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。  1940年東京都生まれ。法政大学、桑沢デザイン研究所卒業。河出書房、『週刊ポスト』『ニューミュージック・マガジン』誌の編集者、CBSソニー出版(現ソニー・マガジズ)の編集長を経て、現在フリーのライターおよび編集者。			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科 昼間部 (3年制)	2024年度	1年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
学科	日本美術史B (FA科)	北 進一	1単位 22.5時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
最初に日本絵画の黄金時代とされる桃山時代の絵画、特に狩野永徳と長谷川等伯の絵画などから始まり、俵屋宗達や尾形光琳の琳派絵画など江戸時代の絵画へ展開してゆく過程を探究する。その後、池大雅や与謝野蕪村などの文人画、円谷応挙などの写実派、伊藤若冲などの奇想派や浮世絵師の絵画を取り上げ、江戸絵画の本質を探ってゆく。			
【講義概要】			
近世以降の日本美術は、中世までの宗教色の濃い美術から脱し、世俗的で鑑賞性の高い美術へ変貌してゆく。本講は、桃山時代の障壁画や江戸絵画などを取り上げ、独自の色彩と形態を追求してゆく有様を見てゆく。日本美術史を従来の様式論でおさえるのではなく、イメージの解読という新たな視点から日本文化史の中に位置づけて探求してみたい。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	狩野永徳の絵画		
2	狩野永徳の絵画		
3	長谷川等伯の絵画		
4	長谷川等伯の絵画		
5	長谷川等伯の絵画		
6	俵屋宗達の絵画		
7	俵屋宗達の絵画		
8	尾形光琳の絵画		
9	池大雅と与謝蕪村の絵画		
10	円山応挙の絵画		
11	伊藤若冲の絵画		
12	狩野一信の絵画		
13	浮世絵の変遷 その1		
14	浮世絵の変遷 その2		
15	浮世絵の変遷 その3		
【成績評価方法】			
課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。  和光大学卒業後、中国・山東大学に留学。群馬県立女子大学兼任講師。専攻は日本および東洋美術史。著書に『ほとけを知る一仏像めぐりハンドブック』（シンコミュージック・エンターテイメント）『アシュラブック』（美術出版社）、共著に『カラー版東洋美術史』（美術出版社）。			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2024年度	1年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
学科	デザイン術(VD科)	大石恵美子	1単位 22.5時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
<p>アスリートが筋トレをするように、デザイナーに適したトレーニングをします。基礎的なデザインの「術」を身につけて、創作のスキルアップを目指してください。</p>			
<b>【講義概要】</b>			
<p>多くの事例を紹介し → 表現の技法を学び → 自身の技術にしてもらうため、制作もします。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション・自己紹介		
2	テーマ発表		
3	課題制作①		
4	課題制作①		
5	課題制作①		
6	経過チェック		
7	課題制作②		
8	課題制作②		
9	課題制作②		
10	経過チェック		
11	課題制作③		
12	課題制作③		
13	課題制作③		
14	最終チェック		
15	プレゼン・講評		
<b>【成績評価方法】</b>			
<p>課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。          なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。          合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
<b>【授業の特徴・形式と教員紹介】</b>			
<p>講義形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。</p>			
<p>アートディレクター。1987年東京藝術大学卒業。1989年同大学院デザイン科修了。株式会社電通入社。ニューヨークADC、ニューヨークフェスティバル、クリオ賞、カンヌ広告賞、他受賞多数。『新アートディレクター入門』編集、『プロモーションとアートディレクション』執筆。</p>			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科/ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2024年度	1年・前期/後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	英会話	ティム・ウェイレン	2単位 45時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
芸術やデザイン分野で活躍しようと思っている人たちに役立つ表現および単語に焦点を合わせて基本英会話レッスン。			
<b>【講義概要】</b>			
海外の友達と会話するときや、芸術・デザインの世界の現場で英語を使うときでも、スムーズにコミュニケーションができるように、レッスンはフリートーク、リスニング演習、簡単なテキスト（プリント）の三つの部分に分けられています。リラックスした雰囲気の中で自分の英語力を伸ばしましょう。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション	17	講義
2	講義	18	講義
3	講義	19	講義
4	講義	20	講義
5	講義	21	講義
6	講義	22	講義
7	講義	23	講義
8	講義	24	講義
9	講義	25	講義
10	講義	26	講義
11	講義	27	講義
12	講義	28	講義
13	講義	29	講義
14	講義	30	後期試験
15	講義		
16	中間試験		
<b>【成績評価方法】</b>			
課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合、成績評価の対象外となる。 合格：(100~95：A+ 94~80：A 79~70：B 69~60：C) 不合格(59~0：D) 仮処置：保留			
<b>【授業の特徴・形式と教員紹介】</b>			
講義・ディスカッション形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			
カナダ ブリティッシュコロロンビア州生まれ。1979年-1980年東京にて英語教師。1980年-1981年ブリティッシュコロロンビア大学で日本語を学ぶ。1983年-1985年東京デザイン学校でグラフィックデザインを学ぶ。1987年-1995年企業にて翻訳、テクニカルライター。現在フリーの翻訳家及び英語教師。			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科/ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2024年度	1年留学生・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	日本語1	蔣 燕萍	1単位 24時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
美術・デザインに関する専門用語の勉強によって、日本語（特に口語能力）の向上を目標として挙げます。			
<b>【講義概要】</b>			
1.1分間スピーチ（30分） 2.美術関係記事についてのディスカッション（50分） 3.映像教材を用いた美術用語導入（90分） 4.前回導入した美術用語のチェック小テスト（10分） 5.課外宿題			
回	授業計画及び学習の内容		
1	模擬試験		
2	講義		
3	講義		
4	講義		
5	講義		
6	模擬試験		
7	講義		
8	講義		
9	講義		
10	講義		
11	模擬試験		
12	講義		
13	講義		
14	講義		
15	講義		
16	模擬試験		
<b>【成績評価方法】</b>			
課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
<b>【授業の特徴・形式と教員紹介】</b>			
講義・ディスカッション形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。  中国福建省出身。2008年来日。2011年日本語能力試験N1合格。2014年3月札幌大学経営学部経営学科卒業。2014年4月株式会社アイデム入社。新卒担当のエージェントとして留学生の就職をサポート。2016年7月より創形美術学校にて主に広報活動と留学生教育に携わる。			



# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科/ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2024年度	1年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	技法力	鈴木吐志哉	2単位 58.5時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
<p>この授業では様々な版画の技法を体験します。版画で遊びながら「技法の力」を実感し、自分のイメージを展開、成長させることをこの授業の最大目的とします。</p> <p>そして版画というフィルターを通すことで、自分の作品の別の顔に出会うことを目標とします。</p>			
<b>【講義概要】</b>			
<p>技法力は様々な版画の技法から生まれる表現を体験しながら探る授業です。まずフロタージュから始まりモノタイプやシルクスクリーンなど、直接描くことでは得られない間接表現の魅力を学びます。さらに本校収蔵の葛飾北斎「神奈川沖浪裏」復刻版の版木をキーワードに、自由な表現による木版画、カラージュエと展開させてゆきます。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	版画のいろいろ～フロタージュについて		
2	モノタイプ (トランスファー技法) について		
3	モノタイプ (カラー) について～制作		
4	シルクスクリーンについて～原稿制作		
5	シルクスクリーン (刷り)		
6	モノタイプ (スクラッチ技法) について		
7	シリコンリトグラフについて～制作		
8	シリコンリトグラフ制作 (刷り)		
9	木版画 (正方形の版木を使って) 葛飾北斎 (復刻版版木の摺り体験)		
10	木版画 (正方形の版木を使って) 葛飾北斎 (復刻版版木の摺り体験)		
11	木版画 (正方形の版木を使って) 葛飾北斎 (復刻版版木の摺り体験)		
12	木版画 (正方形の版木を使って) カラージュエ 葛飾北斎 (復刻版版木の摺り体験)		
13	講評会		
<b>【成績評価方法】</b>			
<p>課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。</p> <p>なお出席が全体の2/3以下の場合、成績評価の対象外となる。</p> <p>合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
<b>【授業の特徴・形式と教員紹介】</b>			
<p>実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。</p> <p>1968年東京都生まれ。創形美術学校研究科版画課程修了。アーティスト・イン・レジデンス アートスタジオ五日市滞在。2002年文化庁芸術家国内研修員。現代日本美術展 (神奈川県立近代美術館賞)。日本版画協会展 (準会員佳作)。飛騨高山現代木版画ビエンナーレ (大賞)、SUVREMENA JAPANSKA G RAFIKA、国際木版画会議-木版ぞめき-、TRIBUNA GRAPHIC 2015、中日現代版画展 他、(社)日本版画協会会員。版画学会会員。</p>			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科 昼間部 (3年制)	2024年度	1年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	観察力(FA科)	工藤礼二郎	3単位 72時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
<p>基礎課程として1年次に、表現の根本になる5つのエレメントに分けて指導を行う。5つのエレメントとは「技法力」「観察力」「構成力」「企画力」「表現力」を指す。将来どんな活動をする上でも基本的な「体」ができていないと多様なものは生まれてこない。1年次前期で基礎力をしっかり身に付けることで、クリエイティブの入り口に立つことができ、2年、3年の授業も「なぜこれをやるのか」を理解できるようになる。その一番大事な部分を取り組む授業が「5つの力」である。上手に描けていながら、自分の描写力に自信のない人。そういった人がこの5つの力を通過する事によって苦手意識を克服し、次世代のプロを育成する足がかりとする。もの作りの構造を理解し、時代に対応できる力をつけることを目標とする。</p>			
<b>【講義概要】</b>			
<p>鉛筆、木炭デッサンから始まり、人体デッサン、水彩、油画など絵画表現の基礎を身につける。 課題毎に講習会を行う。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	鉛筆デッサン( 静物)		
2	講師作品解説/鉛筆デッサン( 静物)		
3	制作実演/木炭デッサン( 静物)		
4	木炭デッサン( 静物)		
5	美術解剖学講座/人体ヌードクロッキー (男性)		
6	美術解剖学講座/人体ヌードクロッキー (女性)		
7	人体ヌードデッサン (男性立像)		
8	人体ヌードデッサン (女性坐像)		
9	人体ヌードデッサン (女性坐像)		
10	水彩描写 (顔を描く)		
11	基礎油画		
12	基礎油画		
<b>【成績評価方法】</b>			
<p>課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
<b>【授業の特徴・形式と教員紹介】</b>			
<p>実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。</p> <p>1964年大阪府生まれ。1990年創形美術学校造形科卒業。1991年同校研究科絵画造形課程修了。1996年渡仏、パリ国際芸術都市滞在。東京・大阪・パリで個展 (ギャラリー現、ギャラリーエ アンドウ等、多数) その他グループ展多数。無所属。</p>			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2024年度	1年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	観察力 (VD科)	関根秀星	3単位 72時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
<p>イラストレーションやデザインや絵画や立体等々、クリエイターの表現方法は多岐にわたるが、全ての表現に共通する大前提の過程として、表現する対象を深く、多角的に理解する“インプット”の質が求められる。</p> <p>デッサンやクロッキーを通して、モノの本質的、外見的な観察力を養い、表現者としての基礎体力をつける。</p>			
<b>【講義概要】</b>			
<p>デッサン・クロッキーの、基礎から応用。</p> <p>課題毎にデモストや講評を行い、より深い理解へと繋げる。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション／グレースケール 静物デッサン基礎		
2	静物デッサン基礎		
3	静物デッサン基礎		
4	人体デッサン・手		
5	想定デッサン		
6	静物デッサン応用		
7	静物デッサン応用		
8	人物クロッキー		
9	人体デッサン・自画像		
10	人体デッサン・自画像		
11	静物デッサン応用		
12	静物デッサン応用		
<b>【成績評価方法】</b>			
<p>課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。</p> <p>なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。</p> <p>合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
<b>【授業の特徴・形式と教員紹介】</b>			
<p>実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。</p> <p>2008年創形美術学校ビジュアルデザイン科卒業。</p> <p>千葉デザイナー学院非常勤講師。鉛筆と色鉛筆を用い、フットボールイラストレーション、ポートレイトを中心に描くイラストレーター。</p>			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科/ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2024年度	1年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	構成力	田中北斗	1.5単位 39時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
基礎力をしっかり身に付けることで、2年、3年の専門課程ができるようになります。「構成力」は、表現においてのカタチの形成・構図・レイアウトなどに関わる重要な基礎の力です。デザインの基礎的な事や考え方を学ぶことを目標とします。			
【講義概要】			
構成力は「デザイン制作」の基礎となる「構図」「レイアウト」など「組み立てる力」をつける授業です。同時に「分析や考察」といった作業も行い、どのような構図やレイアウトがベストなのか、制作を通して身につけていきます。一連の制作を体験しながら、自分自身の作品を客観的に評価し学んでいきます。 第1課題「分解と再構成、トリミング」 第2課題「コラージュ」 第3課題「フライヤー分析と再構成」			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション & 第1課題		
2	第1課題 制作 (分解と再構成)		
3	第1課題 制作 (トリミング)		
4	第1課題 講評		
5	第2課題 (コラージュ) 説明 & 実習		
6	第2課題 制作		
7	第2課題 制作		
8	第2課題 講評		
9	第3課題 (フライヤー) / 分解・分析		
10	第3課題 制作 (アイデアスケッチ)		
11	第3課題 制作 (構築・表現)		
12	第3課題 制作 (検証・評価)		
13	第3課題 講評		
【成績評価方法】			
課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100~95：A+ 94~80：A 79~70：B 69~60：C) 不合格(59~0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。  1971年東京都生まれ。1994年創形美術学校グラフィックデザイン科卒業。1995年同校研究科修了。2002年ホクトデザインルーム設立。企業や店舗のブランディング、グラフィックデザイン、WEBディレクションなどを中心に活動。豊島区のイベントプロデュースも手掛ける。東京都中小企業支援専門家(デザインコンサルティング)			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2024年度	1年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	企画力(VD科)	岡山拓史	1.5単位 39時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
<p>基礎課程として1年次に、表現の根本になる5つのエレメントに分けて指導を行う。5つのエレメントとは「技法力」「観察力」「構成力」「企画力」「表現力」を指す。将来どんな活動をする上でも基本的な「体」ができていないと多様なものは生まれてこない。1年次前期で基礎力をしっかり身に付けることで、クリエイティブの入り口に立つことができ、2年、3年の授業も「なぜこれをやるのか」を理解できるようになる。その一番大事な部分を取り組む授業が「5つの力」である。上手に描けていながら、自分の描写力に自信のない人。そういった人がこの5つの力を通過する事によって苦手意識を克服し、次世代のプロを育成する足がかりとする。もの作りの構造を理解し、時代に対応できる力をつけることを目標とする。</p>			
<b>【講義概要】</b>			
<p>個人が企画やアイデアを求められる場面は現代社会では非常に多くなっています。企画力ではアイデアの出し方、コミュニケーション力、プレゼンテーション力、実現力などクリエイティブの現場で必要となるスキルを、課題制作を通して養います。そして社会との繋がりを意識してもらいます。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション / 課題制作A-1		
2	課題制作A-2		
3	課題制作A-3		
4	課題制作A-4		
5	課題制作A-5		
6	課題制作A-6		
7	プレゼンテーション/講評		
8	課題制作B-1		
9	課題制作B-2		
10	課題制作B-3		
11	課題制作B-4		
12	課題制作B-5		
13	プレゼンテーション/講評		
<b>【成績評価方法】</b>			
<p>課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。          なお出席が全体の2/3以下の場合、成績評価の対象外となる。          合格：(100~95：A+ 94~80：A 79~70：B 69~60：C) 不合格(59~0：D) 仮処置：保留</p>			
<b>【授業の特徴・形式と教員紹介】</b>			
<p>実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。</p> <p>1980年神奈川県生まれ。東京デザイン専門学校卒業。スペースシャワーTVの映像制作部門「SEP」、デザイン事務所「FU TO NE」を経て2016年独立。グラフィック、ムービー、ウェブなどジャンルを問わずデザイナー/アートディレクターとして活動中。JAGDA正会員。</p>			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2024年度	1年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	表現力(VD科)	片山なのあ	1.5単位 30時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>基礎課程として1年次に、表現の根本になる5つのエレメントに分けて指導を行う。5つのエレメントとは「技法力」「観察力」「構成力」「企画力」「表現力」を指す。将来どんな活動をする上でも基本的な「体」ができていないと多様なものは生まれてこない。1年次前期で基礎力をしっかり身に付けることで、クリエイティブの入り口に立つことができ、2年、3年の授業も「なぜこれをやるのか」を理解できるようになる。その一番大事な部分を取り組む授業が「5つの力」である。上手に描けていながら、自分の描写力に自信のない人。そういった人がこの5つの力を通過する事によって苦手意識を克服し、次世代のプロを育成する足がかりとする。もの作りの構造を理解し、時代に対応できる力をつけることを目標とする。</p>			
【講義概要】			
<p>表現力は自由な発想のもと、物や事、ストーリーを色と形で表現する授業です。基本を大事にしながらも、固定概念に囚われず、自分だけの表現を見つける授業でもあります。主観と客観の両面から自分の個性を見つめながら、自分の感情や思考を視覚的に表現できる力を養います。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	制作1 (色彩)		
3	制作2 (形・ディフォルメ)		
4	制作3 (大きな絵)		
5	制作3 (大きな絵)		
6	制作3 (大きな絵)・講評		
7	制作4		
8	制作4		
9	制作4		
10	制作4・講評		
【成績評価方法】			
<p>課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100~95：A+ 94~80：A 79~70：B 69~60：C) 不合格(59~0：D) 仮処置：保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。</p> <p>武蔵野美術大学造形学科建築学科卒業。広告代理店、雑貨メーカー等でデザイナーを経てフリーランスのイラストレーターに。CM、MVなどの映像や、書籍、絵本、パッケージまで幅広い媒体にイラストレーションを提供。子供むけワークショップも多数開催。</p>			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科 昼間部 (3年制)	2024年度	1年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	日本画(FA科)	小林大悟	1.5単位 36時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>敷居が高い日本画の画材へのハードルを下げながら、画材の体験と制作を行います。 親しみやすいテーマを取り入れる事で楽しみながら画材に触れ、日本画への興味と今後の制作への応用に繋がる事を目指します。</p>			
【講義概要】			
<p>触れる機会の少ない「日本画」材料の基礎を学んでいきます。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	墨を研究しよう		
3	鳥獣戯画で遊ぼう		
4	美術館見学		
5	日本画体験		
6	日本画制作		
7	日本画制作		
8	日本画制作		
9	講評/鑑賞会		
10	銀箔実験		
11	グッズ制作		
12	グッズ制作/鑑賞会		
【成績評価方法】			
<p>課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。</p> <p>1990年東京都生まれ。2014年多摩美術大学美術学部絵画学科日本画専攻卒業。2017年アートコミュニケーター『とびらプロジェクト』3期修了。絵画作品の展示発表他、絵本制作や北海道でのレジデンスプロジェクト、ワークショップ活動など幅広く活動。</p>			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2024年度	1年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	写真基礎演習(VD科)	藤本 陽	1単位 18時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
なるべく沢山の写真からより良い写真を選ぶことを覚える。			
【講義概要】			
写真撮影をしてみる。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	授業説明と課題について		
2	撮影(街歩き)とデータ保存		
3	画像編集とLrcの説明		
4	撮影(明日館か目白庭園)とデータ保存		
5	画像編集とプリント		
6	発表会		
【成績評価方法】			
課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合、成績評価の対象外となる。 合格:(100~95:A+ 94~80:A 79~70:B 69~60:C) 不合格(59~0:D) 仮処置:保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。  1983年東京生まれ。創形美術学校を中退、主に百貨店と出版社の広告撮影を行う有限会社ティーツーに入社。2012年からフリーランスのフォトグラファー。Profoto JAPAN AWARD 優秀賞など。			



# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2024年度	1年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	映像ワークショップ(VD科)	三田村光土里	1単位 18時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
現代社会のクリエイティブ環境の中には、ますますアートの感性や発想を求められる機会が増えてきています。それらは目指す共通の理念がアートとデザイン共に人に「感動」を与える事を目標にしているからに他なりません。そういった時代の流れを受けて様々なアートの分野より活躍している講師からリアルタイムな現場の情報と方法論を学び、クリエイティブな発想の「入口」、「きっかけ」になる講座をめざします。			
【講義概要】			
フォト・ストーリーをつくろう			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション、自分の好きな風景や被写体を見つけて学校周辺で写真を撮る。		
2	自分の写真集を作るつもりで、自由に撮る		
3	画像をセレクトし、テーマを決めて、タイトルをつける。		
4	グループに分かれてミーティング		
5	最終チェック		
6	発表・講評		
【成績評価方法】			
課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 現代美術家。1964年生まれ。写真を使った空間作品を国内外で発表。2006年ウィーン分離派館にて個展。2003年東京都写真美術館『日本の新進作家展 vol.2』。2016年あいちトリエンナーレ他。			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科 昼間部 (3年制)	2024年度	1年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	MAC講座A(FA科)	濱迫 萌	1単位 22.5時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
まずはPCに慣れ、何が出来るのかを知ることからはじめます。 印刷物（紙媒体）をベースとした各メディアのデータ作成に必要な基礎知識やスキルなどを身につけることを目指します。			
【講義概要】			
前期では基礎的なPCの使い方、IllustratorおよびPhotoshopの基礎的知識、技術を身につけるための授業を行います。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	データ作成の基礎		
3	Illustrator基礎		
4	Illustrator基礎		
5	Illustrator基礎		
6	Illustrator基礎		
7	名刺制作		
8	名刺制作		
9	名刺制作		
10	名刺制作（提出）		
11	お散歩ビンゴ		
12	お散歩ビンゴ		
13	お散歩ビンゴ		
14	Photoshop基礎		
15	Photoshop基礎		
【成績評価方法】			
課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義・演習形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。アプリケーションソフトの基礎的な使い方を学ぶ。 1996年生まれ。東京都出身。日本工学院八王子専門学校グラフィックデザイン専攻卒業。現在は創形美術学校でPCルームインストラクター・非常勤講師として勤務。フリーランスのイラストレーター・グラフィックデザイナーとしても活動。装画、MVアートワーク、フライヤー・ポスターデザイン等幅広く提供。			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2024年度	1年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	MAC講座A(VD科)	高林直俊	1.5単位 19.5時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
<p>プロのイラストレーターやデザイナーなど、デザイン業界に携わる際に、印刷物（紙媒体）をベースとした各メディアのデータ作成に必要な基礎知識やスキルなどを身につけることを目指します。また自己アピールの際にポートフォリオ作成に必要な最低限の操作技術も身につけます。</p>			
<b>【講義概要】</b>			
<p>Mac講座A(前期)では、Macの基本的な操作方法とIllustrator &amp; Photoshopの基本操作・知識・制作技術を学んでいきます。この2つのアプリケーションは3年間の各講座、そしてデザイン業界では必要最低限のアプリケーションとなります。この2つが扱えない＝デザイン系会社への就職はほぼ不可能だと思いますので、まずは前期でしっかりと基礎を学びましょう。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	Macに触れてみよう		
3	Illustratorに触れてみよう		
4	Illustratorに触れてみよう		
5	Illustrator_基礎①		
6	Illustrator_基礎②		
7	Photoshop_基礎①		
8	Photoshop_基礎②		
9	Illustrator_課題		
10	Photoshop_課題		
11	総合課題_出題		
12	総合課題_提出		
13	課外授業予定		
<b>【成績評価方法】</b>			
<p>課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。          なお出席が全体の2/3以下の場合、成績評価の対象外となる。          合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
<b>【授業の特徴・形式と教員紹介】</b>			
<p>講義・演習形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。アプリケーションソフトの基礎的な使い方を学ぶ。</p> <p>1978年東京都生まれ。2001年創形美術学校ビジュアルデザイン科卒業。井上デザイン事務所・カワムラビデオアクティビティを経て2008年に独立。音楽関連の仕事を中心にCD・レコード・アーティストグッズなどを手掛ける。また音楽イベント・写真展・美術館企画展などのアートディレクションなども多数手掛ける。</p>			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2024年度	1年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
講義	社会とクリエイター(VD科)	田中北斗	1単位 19.5時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
クリエイターになるための考え方（アイデアや企画）や社会との関わり方、クリエイターの職業や活動スタイルなど、講義やゲストを招いたトークセッションを通して学びます。			
<b>【講義概要】</b>			
毎回、講義を中心にプロのクリエイターに必要な知識や考え方を養います。授業時間内の後半では、様々なテーマに合わせ、各自の意見やアイデアを文章やラフスケッチなどの提出。発表など行う場合もあります。ゲストを招いたトークセッションでは、プロのクリエイターになるためのプロセスなどを伺います。質問コーナーも予定。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション 及び 講義		
2	講義		
3	●クリエイタートーク vol.1		
4	講義		
5	講義		
6	●クリエイタートーク vol.2		
7	講義		
8	講義		
9	●クリエイタートーク vol.3		
10	講義		
11	講義		
12	●クリエイタートーク vol.4		
13	講義		
<b>【成績評価方法】</b>			
課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
<b>【授業の特徴・形式と教員紹介】</b>			
講義・ディスカッション形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1971年東京都生まれ。1994年創形美術学校グラフィックデザイン科卒業。1995年同校研究科修了。2002年ホクトデザインルーム設立。企業や店舗のブランディング、グラフィックデザイン、WEBディレクションなどを中心に活動。豊島区のイベントプロデュースも手掛ける。東京都中小企業支援専門家(デザインコンサルティング)			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科 昼間部 (3年制)	2024年度	1年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	前期ファインアート基礎	工藤礼二郎 鈴木吐志哉	2.5単位 75時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
単に「見たまま」「見たとおり」に描くといった狭義の絵画感から、版と絵画の双方の要素に触れながら絵画として自立、成立する色彩や形態とはどうい うものなのかを実践を通して探る。			
<b>【講義概要】</b>			
①版画としてのモノタイプ制作と紙に直接的にアプローチするドローイング制作の双方を行い、画面が成立する要素が版画と絵画でどのような差異と共通点 があるかを検証する。 ②刷りとった痕跡の残るモノタイプの版ヘリタッチすることで作品化を試みる。 ③キャンバスに①②の造形要素をさらに展開させ、タブロー制作を行う			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション/モノタイプ制作	18	タブロー制作
2	モノタイプ制作	19	タブロー制作
3	モノタイプ制作	20	タブロー制作
4	紙にドローイング	21	タブロー制作
5	紙にドローイング	22	タブロー制作
6	紙にドローイング	23	タブロー制作
7	版を絵画化	24	タブロー制作
8	版を絵画化	25	講評
9	版を絵画化		
10	版を絵画化		
11	タブロー制作		
12	タブロー制作		
13	タブロー制作		
14	タブロー制作		
15	タブロー制作		
16	タブロー制作		
17	タブロー制作		
<b>【成績評価方法】</b>			
課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100~95：A+ 94~80：A 79~70：B 69~60：C) 不合格(59~0：D) 仮処置：保留			
<b>【授業の特徴・形式と教員紹介】</b>			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			
<p>工藤 礼二郎：1964年大阪府生まれ。1990年創形美術学校造形科卒業。1991年同校研究科絵画造形課程修了。1996年渡仏、パリ国際芸術都市滞在。東京・大阪・パリで個展（ギャラリー現、ギャラリエ アンドウ等、多数）その他グループ展多数。無所属。</p> <p>鈴木吐志哉：1968年東京都生まれ。創形美術学校研究科版画課程修了。アーティスト・イン・レジデンス アートスタジオ五日市滞在。2002年文化庁芸術家国内研修員。現代日本美術展（神奈川県立近代美術館賞）。日本版画協会展（準会員佳作）。飛騨高山現代木版画ビエンナーレ（大賞）、SUVREMENTA JAPANSKA GRAFIKA、国際木版画会議-木版ぞめぎ、TRIBUNA GRAPHIC 2015、中日現代版画展 他、(社)日本版画協会会員。版画学会会員。</p>			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2024年度	1年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	前期ビジュアルデザイン基礎	田中北斗 岡山拓史	2単位 66時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
自分の好きなミュージシャンのCDジャケットとポスターをオリジナルで制作します。			
<b>【講義概要】</b>			
イラストや文字情報を限られたスペースの中に収めながら、音楽から受けるイメージを広げて、ビジュアルで表現することを学びます。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション	18	制作指導
2	制作	19	制作
3	制作	20	制作
4	制作指導	21	制作
5	制作	22	総合講評
6	制作		
7	制作		
8	中間講評		
9	制作		
10	制作		
11	制作指導		
12	制作		
13	制作		
14	制作		
15	中間チェック		
16	制作		
17	制作		
<b>【成績評価方法】</b>			
課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
<b>【授業の特徴・形式と教員紹介】</b>			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			
<p>田中北斗：1971年東京都生まれ。1994年創形美術学校グラフィックデザイン科卒業。1995年同校研究科修了。2002年ホクトデザインルーム設立。企業や店舗のブランディング、グラフィックデザイン、WEBディレクションなどを中心に活動。豊島区のイベントプロデュースも手掛ける。東京都中小企業支援専門家（デザインコンサルティング）<span style="float:right">岡山</span></p> <p>拓史：1980年神奈川県生まれ。東京デザイン専門学校卒業。スペースシャワーTVの映像制作部門「SEP」、デザイン事務所「FUTONE」を経て2016年独立。グラフィック、ムービー、ウェブなどジャンルを問わずデザイナー／アートディレクターとして活動中。JAGDA正会員</p>			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2024年度	1年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
学科	MAC講座B (VD科)	高林直俊	1単位 22.5時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
後期でも基礎的なPCの使い方、IllustratorおよびPhotoshopの基礎的知識を身につけながら、更にアプリケーションの理解力を掘り下げた授業を行います。			
<b>【講義概要】</b>			
イラストレーターやデザイナーなどデザイン業界に携わる際に、印刷物（紙媒体）をベースとした各メディアのデータ作成に必要な基礎知識やスキルなどを身につけることを目指します。また他業種などの道を選ぶにしても自己アピールの際に必要な最低限のスキルを身につけます。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	MAC講座Aの復習		
2	実データに触れる、仕事のデータに触れる		
3	実データに触れる		
4	Illustrator_応用A、Illustratorの応用（レイアウトなど）		
5	Illustrator_応用B		
6	Photoshop_応用A、Photoshopの応用（画像処理など）		
7	Photoshop_応用B		
8	【課題 B】 ポストカード作成、初日に完成までの流れやポイントなどを説明、表面&裏面：自由（テーマあり）		
9	制作チェック		
10	制作チェック		
11	制作チェック		
12	講評		
13	小課題、製作から提出まで完結させる、（瞬発力・姿勢・センス・技量・ボキャブラリー・熱量）		
14	小課題		
15	小課題		
<b>【成績評価方法】</b>			
課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
<b>【授業の特徴・形式と教員紹介】</b>			
講義・演習形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。アプリケーションソフトの基礎的な使い方を学ぶ。			
1978年東京都生まれ。2001年創形美術学校ビジュアルデザイン科卒業。井上デザイン事務所・カワムラビデオアクティビティを経て2008年に独立。音楽関連の仕事を中心にCD・レコード・アーティストグッズなどを手掛ける。また音楽イベント・写真展・美術館企画展などのアートディレクションなども多数手掛ける。			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2024年度	1年・前期/後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	アニメーション基礎(VD科)	飯田 萌	1単位 21時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
<p>手描き、コマ撮り（実写も可）など、自由な表現でアニメーションを制作。編集作業はPremireを使用する。</p>			
<b>【講義概要】</b>			
<p>映像研究と制作（自由な発想で）</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	ガイダンス+制作		
2	制作		
3	制作		
4	作画と作品鑑賞		
5	作画と作品鑑賞		
6	制作		
7	上映会(講評)		
<b>【成績評価方法】</b>			
<p>課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。            なお出席が全体の2/3以下の場合、成績評価の対象外となる。            合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
<b>【授業の特徴・形式と教員紹介】</b>			
<p>実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。</p> <p>2010年多摩美術大学グラフィックデザイン科卒業。2012年同大学院修了。フジテレビ『ベビスマ』、NHK『デジスタ・ティーンズ』にて作品紹介。アニメーション作品『臓器大学』が学生CGコンテスト銀賞、TSSショートムービーフェスティバル佳作受賞など。2015年タンバリンギャラリーにて個展。その他、MONSTER展（ヒカリエ）、MONSTER展inNY、bustercall ワンピース展など多数。</p>			



# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2024年度	1年・前期/後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	エディトリアルデザイン基礎(VD科)	奥定泰之	1単位 51時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
<p>「読むこと／見ること」をどうデザインでコントロールするかを意識しながら、InDesignを自由に使いこなし、エディトリアル作品を制作する。また実際の制作現場に対応できるような、本の素材や構造、印刷方法なども身につける。</p>			
<b>【講義概要】</b>			
<p>InDesignというアプリケーションを使って、レイアウト、素材、構造などを意識しながら、冊子形式のエディトリアル作品を試作する。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	InDesignとは何か		
2	作品制作のミーティング		
3	制作		
4	制作		
5	制作		
6	書籍のデザイン（文字組）		
7	制作		
8	制作		
9	制作		
10	雑誌のデザイン（レイアウト）		
11	制作		
12	制作		
13	制作		
14	作品制作のミーティング		
15	制作		
16	制作		
17	仕上げ・講評		
<b>【成績評価方法】</b>			
<p>課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。          なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。          合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
<b>【授業の特徴・形式と教員紹介】</b>			
<p>実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。</p> <p>1970年愛媛県生まれ。グラフィックデザイナー。株式会社オクスダデザイン代表。主に書籍や雑誌のデザインを手がける。第40回、46回造本装幀コンクール入賞。第2回竹尾賞優秀賞。共著に『感性と社会』（論創社）、『近代デザイン史』（武蔵野美術大学出版局）。JAGDA会員。早稲田大学非常勤講師。</p>			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科 昼間部 (3年制)	2024年度	1年・前期/後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	漫画と絵画(FA科)	松尾 龍	1単位 21時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
漫画をテーマにアート作品（平面・立体・インスタレーション・パフォーマンスなど）として自由に作品を制作し、最終日には発表、講評会を行います。			
<b>【講義概要】</b>			
日本の文化で独自の発展を続けている漫画文化、それを"アート"の視点で漫画との関係性や表現方法を考え制作します。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	制作指導		
3	制作指導		
4	制作指導		
5	制作指導		
6	制作指導		
7	講評会		
<b>【成績評価方法】</b>			
課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
<b>【授業の特徴・形式と教員紹介】</b>			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 埼玉県出身。創形美術学校ファインアート科絵画専攻卒業。シテ・デ・ザール滞在後、画家として幅広く活躍。主な個展 5/R Hall&Gallery、埼玉県立近代美術館など。ACT大賞展優秀賞受賞。			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科 ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2024年度	1年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技 選択必修	シルクスクリーン基礎	東樋口徹	1.5単位 42時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>シルクスクリーンは別名孔版と呼ばれ、型染めの型紙と紗が組み合わされて改良されたものです。枠に張った紗の目を不必要な部分は塞ぎ、画の孔（穴）の部分からスキージによって下の紙にインクを落として刷る技法です。授業においてはいくつかの製版方法がありますが、現在一般的に行われる直接感光法を学びます。基礎を身に付け各自のイメージに近づける作品作りを目指します。</p>			
【講義概要】			
<p>基本的な水性インクで紙に刷る4版以上を使った作品（A4/21cm×29.7cm）を一点（紙8枚程度）制作。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	技法説明		
3	技法説明(製版)		
4	描画制作		
5	描画制作		
6	技法説明(刷り)		
7	版制作		
8	版指導・印刷実演		
9	改版指導		
10	試し刷り		
11	試し刷り		
12	本刷り指導		
13	本刷り		
14	講評		
【成績評価方法】			
<p>課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1975年奈良県生まれ。2006年東京藝術大学美術研究科修了。2005年第3回山本鼎版画大賞展準大賞、2007年Prints Tokyo 2007買上賞（三極）、2009年The 2nd NBC MESHTEC TOKYO INTERNATIONAL SCREEN PRINT BIENNIAL優秀賞。2015アワガミ国際ミニプリント展大賞。（社）日本版画協会会員。</p>			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科 昼間部 (3年制)	2024年度	1年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技 選択必修	フレスコ画(FA科)	杉崎匡史	2単位 66時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
<p>油彩画以前の一つの古典技法であるフレスコ画技法は、消石灰と砂を混ぜたもので漆喰壁を作り、その壁が乾き切らぬうちに顔料を水のみで溶いて描ききるので、空気中の二酸化炭素と反応した石灰成分が顔料を閉じこめ、半永久的に壁画は色褪せることがない。壁や石灰といった素材の強さにおいては代え難いものがあり、光沢の無い自然な質感や、制約の中で必要とされる高い集中力、五感だけでなく身体を目一杯使って体感することなど、その中に潜む一つの可能性を探求する。</p>			
<b>【講義概要】</b>			
<p>古典技法としてのフレスコ画技法を模写を通して試みる。物質が変化していく、その体験を目の当たりにしながら、実直に絵と向き合う時間に身をゆだね、その中で自身の展開に繋がられるのか考えてみる。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	ガイダンス・フレスコ剥がし・原画選択・拡大コピー	18	上塗り⑥・描画⑥
2	モルタル作り・地塗り・壁荒らし・拡大コピー続き	19	ジョルナータ線削り
3	モルタル再練り・カルトネ制作・顔料練り	20	モルタル再練り
4	カルトネ制作・顔料練り	21	上塗り⑦・描画⑦・完成
5	モルタル再練り・中塗り・シノピア・壁荒らし	22	片付け 講評会
6	モルタル再練り・上塗り①・描画①		
7	ジョルナータ線削り		
8	上塗り②・描画②		
9	ジョルナータ線削り		
10	モルタル再練り		
11	上塗り③・描画③		
12	ジョルナータ線削り		
13	上塗り④・描画④		
14	ジョルナータ線削り		
15	モルタル再練り		
16	上塗り⑤・描画⑤		
17	ジョルナータ線削り		
<b>【成績評価方法】</b>			
<p>課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。          なお出席が全体の2/3以下の場合、成績評価の対象外となる。          合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
<b>【授業の特徴・形式と教員紹介】</b>			
<p>実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。</p> <p>1967年東京都生まれ。1993年東京藝術大学大学院美術研究科壁画専攻修了。1993年より個展を中心にフレスコ技法を使った立体・レリーフ作品を発表。近年はより作品を平面化し、フレスコ技法を用いた痕跡と色彩のみで構成される作品を発表している。2001年トーキョーワンダーウォール賞。</p>			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2024年度	1年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	グラフィックデザイン基礎(VD科)	草谷隆文	1.5単位 51時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
アイデアと技術を具現化するために実作業の流れを身につけ、グラフィックデザインの基礎を学びます。			
【講義概要】			
実際にアドタイピングを製作することによりアイデアの出し方、企画の考え方のトレーニングを学びます。学生同士のディスカッションも行います。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	ガイダンス、第1課題説明		
2	制作		
3	制作チェック		
4	制作		
5	第2課題説明		
6	制作		
7	制作チェック		
8	制作		
9	第1、2課題確認、第3課題説明		
10	オプション課題説明		
11	制作		
12	制作のチェックと指導		
13	制作		
14	制作のチェックと指導		
15	制作		
16	制作		
17	全体講評		
【成績評価方法】			
課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。  1963年静岡県生まれ。1985年玉川大学文学部教育学科教育哲学専攻卒業。1989年廣村デザイン事務所入社。1996年有限会社草谷デザイン事務所設立。 [入選/受賞歴] 1994年準朝日広告賞。1995年JAGDA新人賞。2001年グッドデザイン賞部門賞。2008年準朝日広告賞。2009年朝日広告賞グランプリ。			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2024年度	1年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	コミック基礎	石山さやか	1単位 30時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
まずは漫画というものに触れ、親しんでみます。自分が今まで見てきた以外にも様々な表現方法の漫画が存在すること、言いたいことや見せたいものによって構成も描き方も変わってくることを、実際に手を動かすことで学びます。			
【講義概要】			
『漫画』とはそもそも何か、実際の漫画作品やその表現の多様性を眺めつつ、自分でも短い漫画作品を作ってみます。現代の漫画作品の発信方法やデビューまでの道筋、また制作の基本的な工程についても学びます。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション／講師自己紹介／課題1「自分を元にしたキャラクターを作ってみよう」		
2	制作		
3	課題1・講評		
4	講義「漫画を描く手順」「テーマを見つける発想法」		
5	制作		
6	課題2「1ページ漫画を描いてみよう」		
7	制作		
8	進捗チェック (ネーム)		
9	進捗チェック (下書き・ペン入れ)		
10	課題2・講評		
【成績評価方法】			
課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1981年埼玉県生まれ。創形美術学校ビジュアルデザイン科イラストレーション専攻卒業。都内の広告代理店で勤務後、イラストレーター・漫画家としての活動を始める。主な仕事は書籍装丁、雑誌挿絵、児童書挿絵、CDジャケットなど。2017年に初の単行本『サザンウィンドウ・サザンドア』（祥伝社）発売。			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科 昼間部 (3年制)	2024年度	1年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	絵画表現(FA科)	安藤孝浩	2単位 66時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
<p>自分が興味のある絵は美術史から見るとどの位置に属するのかを探り、自分の絵をより深く理解して新たな表現にアップデートします。</p>			
<b>【講義概要】</b>			
<p>① 「美術史マラソン」 美術の全貌を知る            ② 「スタイルの変化と技法の歴史」            ③ 「実践」 描写か？表現か？徹底描写と構成</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション	18	制作
2	「美術史マラソン」 美術の全貌を知る	19	制作
3	制作	20	制作
4	制作	21	制作
5	制作	22	講評会
6	制作		
7	制作		
8	「スタイルの変化と技法の歴史」		
9	制作		
10	制作		
11	制作		
12	制作		
13	制作		
14	「実践」 描写か？表現か？徹底描写と構成		
15	制作		
16	制作		
17	制作		
<b>【成績評価方法】</b>			
<p>課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。            なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。            合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
<b>【授業の特徴・形式と教員紹介】</b>			
<p>実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。            1991年東京藝術大学美術学部絵画科油画専攻卒業。2016年～2019年東京藝術大学非常勤講師。現在、科学とアートを橋断する作品を制作。主な活動として、2009年～2012年宇宙航空研究開発機構（JAXA）とコラボレーションした文化・人文社会科学利用パイロットミッション『お地球見』（ISS国際宇宙ステーションにて実施）など。</p>			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2024年度	1年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	イラストレーション基礎(VD科)	花島百合	1.5単位 51時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
イラストレーションの仕事と自分らしい表現の発見。			
【講義概要】			
イラストレーションの仕事において求められる事・物を企画。アイデアを通して学ぶ。イラストレーションのマーケットでのオリジナリティー、個性の重要性を作品制作で体験する。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション／課題①説明		
2	制作		
3	制作チェック		
4	制作		
5	課題①講評／課題②説明		
6	制作		
7	制作チェック		
8	制作		
9	課題②講評／課題③説明		
10	制作		
11	制作チェック		
12	制作		
13	課題③講評／課題④説明		
14	制作		
15	制作チェック		
16	制作		
17	最終講評		
【成績評価方法】			
課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。  創形美術学校卒業後よりイラストレーターとして活動。ザ・チョイス入選。CWCチャンス展セミファイナリスト入選。広告、商品、出版物、キャラクターイラスト、アニメーション等のイラストレーション制作。			



# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科 屋間部 (3年制)	2024年度	1年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	銅版画基礎(FA科)	長島 充	2単位 66時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
銅版画の基本的なエッチング技法での制作により版画に親しんでもらう。「自然物」をモチーフに線描と点描によるモノクロームの描写力・表現力を養う。			
<b>【講義概要】</b>			
腐食銅版画の中で最も基本的な技法であるライン・エッチング技法によりモノクロームの銅版画1点(18×24cm)を制作します。ドローイングにも感覚の近い線描と点描を用いて自然物を観察し銅板という物質に表現していきます。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	ガイダンス+版の準備	18	本刷り指導
2	下絵トレース・描画+腐食指導	19	本刷り
3	描画制作	20	本刷り
4	描画制作	21	本刷り
5	試し刷り指導	22	講評会
6	描画・彫版指導		
7	彫版制作		
8	試し刷り～再彫版		
9	彫版制作		
10	試し刷り～再彫版		
11	彫版制作		
12	彫版制作		
13	彫版制作		
14	試し刷り～再彫版		
15	彫版制作		
16	彫版制作		
17	彫版制作		
<b>【成績評価方法】</b>			
課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
<b>【授業の特徴・形式と教員紹介】</b>			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。  1959年千葉県生まれ。創形美術学校研究科版画課程修了。1984年～日本版画協会展出品（以後毎年）、R.O.C.国際版画・素描ビエンナーレ版画部門銀賞、カブラム国際版画ビエンナーレ名誉メダル賞、日本版画協会展準会員賞、イビザ国際版画ビエンナーレ最高賞、環太平洋国際版画展2011特別賞受賞。その他国際版画展、美術館企画展多数出品。（社）日本版画協会会員。			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2024年度	1年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	メディアデザイン基礎(VD科)	岡山拓史	1.5単位 45時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
映像制作の現場で必要となる知識や技術などの基礎を学ぶ。			
【講義概要】			
映像制作における一連の流れ(企画、撮影、編集、スケジュール管理など)を体験し映像を制作。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション／課題説明		
2	企画会議・アイデア出し		
3	プレゼンテーション		
4	撮影		
5	撮影		
6	撮影		
7	撮影チェック／編集		
8	編集		
9	編集		
10	試写		
11	追加撮影		
12	編集		
13	編集		
14	編集		
15	最終講評		
【成績評価方法】			
課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。  1980年神奈川県生まれ。東京デザイン専門学校卒業。スペースシャワーTVの映像制作部門「SEP」、デザイン事務所「FU TO NE」を経て2016年独立。グラフィック、ムービー、ウェブなどジャンルを問わずデザイナー／アートディレクターとして活動中。JAGDA正会員。			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科 昼間部 (3年制)	2024年度	1年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	テンペラ画(FA科)	安藤孝浩	2単位 75時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
<p>中世美術からルネッサンス期を経て現代にまで受け継がれてきた卵テンペラ技法を学ぶ。卵で作る絵具の造形の自由さ、楽しさを学ぶ。ここでは技法と描写の関係を理解し、絵画表現の幅広い可能性を追求する。絵画模写をしながらテンペラ技術の基礎と応用を修得する。</p>			
<b>【講義概要】</b>			
<p>木材板の基材に地塗りをしてパネルを作る。卵テンペラ（水性画材）をつくり、描画材として絵画模写をする。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション、模写作品選び	18	卵テンペラによる描写
2	下地作り	19	卵テンペラによる描写
3	下絵（転写）	20	中間チェック
4	下絵（転写）	21	卵テンペラによる描写
5	ボーロ塗り	22	卵テンペラによる描写
6	金箔貼り	23	卵テンペラによる描写
7	ボーロ塗り	24	卵テンペラによる描写
8	金箔貼り	25	講評
9	金箔貼り		
10	卵テンペラによる描写		
11	卵テンペラによる描写		
12	卵テンペラによる描写		
13	中間チェック		
14	卵テンペラによる描写		
15	卵テンペラによる描写		
16	中間チェック		
17	卵テンペラによる描写		
<b>【成績評価方法】</b>			
<p>課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。          なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。          合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
<b>【授業の特徴・形式と教員紹介】</b>			
<p>実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。</p> <p>1991年東京藝術大学美術学部絵画科油画専攻卒業。2016年～2019年東京藝術大学非常勤講師。現在、科学とアートを横断する作品を制作。主な活動として、2009年～2012年宇宙航空研究開発機構（JAXA）とコラボレーションした文化・人文社会科学利用パイロットミッション『お地球見』（ISS国際宇宙ステーションにて実施）など。</p>			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2024年度	1年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	映像(VD科)	高橋哲人	1.5単位 42時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
チームで映像を制作し音楽に合わせたパフォーマンスする事を目標に、それに必要な映像制作、機材の基本を学び、チームで協力し高め合いながら一つの作品を作り上げます。講義を通して自分の表現をする事と、人を楽しませ自分も楽しむ事、仲間と協力するという表現活動に必要な事を学びます。			
【講義概要】			
最終課題のパフォーマンスを目指し、アクティビティ・映像制作・パフォーマンスを軸とした内容で構成します。 人と協力する為のアクティビティ、MVやコンサートなど既存作品の分析、音楽と映像の関係性、CGアニメーション制作、映像のリアルタイムコントロール、パフォーマンス、撮影、映像編集を学びます。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション／課題説明		
2	企画会議・アイデア出し		
3	ミュージック選び		
4	パフォーマンス練習		
5	パフォーマンス練習		
6	撮影		
7	撮影		
8	撮影チェック／編集		
9	編集		
10	試写		
11	追加撮影、音楽編集など		
12	編集		
13	編集		
14	パフォーマンス発表		
【成績評価方法】			
課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。  2004年多摩美術大学卒業。2006年TETSUJIN設立。アーティスト・オーディオビジュアルミュージシャン。国家公認の異能β。ほうきギターを始めとする清掃楽器の奏者・開発者。音楽と映像と楽器で世界を彩るアート作品制作を行っている。題名のない音楽会に出演他、コンサートの映像照明演出など手がける。			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科 昼間部 (3年制)	2023年度	1年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	専攻別テーマ制作(FA科)	鈴木吐志哉 工藤礼二郎	2.5単位 126時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

- 油性木版画の基本技術の習得
- 油彩画の古典技法を通じて油絵材料の性質や支持体の重要性と絵画組成を理解する。

## 【講義概要】

- 油性木版画1版単色。モノクロームの大型版木に取り組み制作することで、木版画油性摺り技法の基本と魅力を体験します。版木サイズ 600×450mm
- 絵画を学ぶ上で重要な西洋絵画。その中心をなす油彩画の支持体の変遷を学ぶと同時に、油彩画発祥の初期フランドル派の技法に基づくグリザイユ（モノトーンの絵画）を制作する。

回	授業計画及び学習の内容	
1	スライドにて作家紹介/彫りの解説	18 グリザイユガイダンス
2	版木にドローイング～彫版開始	19 支持体制作
3	彫版	20 モチーフ決定、撮影開始
4	彫版	21 モチーフ撮影
5	彫版	22 トレース
6	木版画の摺りデモンストレーション	23 トレース
7	彫版（試し摺り）	24 支持体研磨
8	彫版（試し摺り）	25 支持体研磨
9	木版画技法紹介 1	26 不透明層の描画
10	彫版（試し摺り）	27 不透明層の描画
11	試し摺り（彫版）	28 不透明層の描画
12	試し摺り（彫版）	29 不透明層の描画
13	木版画技法紹介 2	30～ グレーズ（透層）による描写
14	本摺り開始/作品の仕上げについて	42 講評会
15	本摺り	
16	本摺り	
17	講評会	

## 【成績評価方法】

課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。  
なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。  
合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留

## 【授業の特徴・形式と教員紹介】

実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。

工藤礼二郎：1964年大阪府生まれ。1990年創形美術学校造形科卒業。1991年同校研究科絵画造形課程修了。1996年渡仏、パリ国際芸術都市滞在。東京・大阪・パリで個展（ギャラリー現、ギャラリエ アンドウ等、多数）その他グループ展多数。無所属。

鈴木吐志哉：1968年東京都生まれ。創形美術学校研究科版画課程修了。アーティスト・イン・レジデンス アートスタジオ五日市滞在。2002年文化庁芸術家国内研修員。現代日本美術展（神奈川県立近代美術館賞）。日本版画協会展（準会員佳作）。飛騨高山現代木版画ビエンナーレ（大賞）、SUVREMENA JAPANSKA G RAFIKA、国際版画会議-木版ぞめき、TRIBUNA GRAPHIC 2015、中日現代版画展 他、（社）日本版画協会会員。版画学会会員。

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2024年度	1年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	専攻別テーマ制作 (イラストレーション・絵本専攻)	須田浩介 関根 秀星	2.5単位 123時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
<p>イラストレーターとしての実践経験を想定し成果物に収めるまでの過程を経て制作を行い、テーマに対する捉え方や発想力を深めることで自作品の魅力や個性に繋げていきイラストレーションとしての可能性を探究する。</p>			
<b>【講義概要】</b>			
<p>指定したテーマに基づいて作品を制作。コンセプト発表やラフ案提出などクライアントワークを制作する際に必要なプロセスを経ながら密度のある作品制作を目指す。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション	18	制作
2	テーマ発表	19	制作
3	制作	20	制作
4	制作	21	制作チェック
5	制作チェック	22	制作
6	コンセプト発表	23	制作
7	制作	24	制作
8	制作	25	プレゼンチェック
9	制作チェック	26	制作
10	ラフ案提出	27	制作
11	制作	28	制作
12	制作	29	作品発表
13	制作チェック	30～	ブラッシング
14	制作	41	講評会
15	制作		
16	制作		
17	制作チェック		
<b>【成績評価方法】</b>			
<p>課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。            なお出席が全体の2/3以下の場合、成績評価の対象外となる。            合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
<b>【授業の特徴・形式と教員紹介】</b>			
<p>実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。</p> <p>須田浩介：イラストレーター。2008年創形美術学校ビジュアルデザイン科卒業、同年シテデザイナーに派遣。2008年～2013年フリーアートマガジンS発行、雑誌・装画・ポスター等の仕事を手がけ、アクリル絵の具を使ったファッション感のある人物、動物等を主に描く。跡見学園女子大学イラスト非常勤講師。</p> <p>関根秀星：2008年創形美術学校ビジュアルデザイン科卒業。千葉デザイナー学院非常勤講師。鉛筆と色鉛筆を用い、フットボールイラストレーション、ポートレイトを中心に描くイラストレーター。</p>			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2024年度	1年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	専攻別テーマ制作 (グラフィックデザイン専攻)	田中北斗	2.5単位 123時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
<p>1年間で身につけた基礎力を基に、コミュニケーションと表現の関係性の理解が進むことを目標とします。 告知内容を見る人にどう表現すれば伝わるかを、工夫を凝らしながら制作します。 また、限られた紙面の中でどのようにレイアウトすれば良いかを学びます。</p>			
<b>【講義概要】</b>			
<p>ポスターとフライヤーを、文字をモチーフとしたビジュアルを用いて制作します。その際、配布された原稿の情報が伝わるようにレイアウトします。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション	18	制作
2	企画立案	19	制作
3	制作	20	制作
4	制作	21	制作チェック
5	制作チェック	22	制作
6	制作	23	制作
7	制作	24	制作
8	制作	25	制作チェック
9	制作チェック	26	制作
10	制作	27	制作
11	制作	28	制作
12	制作	29	プレゼンテーション
13	中間発表	30～	ブラッシング
14	制作	41	講評会
15	制作		
16	制作		
17	制作チェック		
<b>【成績評価方法】</b>			
<p>課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
<b>【授業の特徴・形式と教員紹介】</b>			
<p>実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。</p> <p>1971年東京都生まれ。1994年創形美術学校グラフィックデザイン科卒業。1995年同校研究科修了。2002年ホクトデザインルーム設立。企業や店舗のブランディング、グラフィックデザイン、WEBディレクションなどを中心に活動。豊島区のイベントプロデューサーも手掛ける。東京都中小企業支援専門家(デザインコンサルティング)</p>			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2024年度	1年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	専攻別テーマ制作 (メディアデザイン専攻)	岡山拓史	2.5単位 123時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
<p>短期間での企画出し、撮影、編集、スケジュール管理など映像制作の一連の流れを体験。制作した動画は各種メディアで配信。</p>			
<b>【講義概要】</b>			
<p>映像制作の現場で必要となる知識や技術などの基礎を学び、昨今のメディアやデバイスの特性を理解しながら1本の映像を制作する。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション	18	編集
2	企画立案	19	編集
3	ラフ案提出	20	中間講評会
4	絵コンテ制作	21	編集
5	絵コンテ制作	22	編集
6	撮影	23	編集
7	撮影	24	編集チェック
8	撮影	25	編集
9	映像チェック	26	編集
10	プレゼンテーション	27	編集
11	編集	28	編集
12	編集	29	プレゼンテーション
13	編集チェック	30～	ブラッシング
14	編集	41	講評会
15	編集チェック		
16	編集		
17	編集		
<b>【成績評価方法】</b>			
<p>課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。          なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。          合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
<b>【授業の特徴・形式と教員紹介】</b>			
<p>実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。</p> <p>1980年神奈川県生まれ。東京デザイン専門学校卒業。スペースシャワーTVの映像制作部門「SEP」、デザイン事務所「FU TO NE」を経て2016年独立。グラフィック、ムービー、ウェブなどジャンルを問わずデザイナー／アートディレクターとして活動中。JAGDA正会員。</p>			